

令和3年度 第9回宮古島市教育委員会（定例会）議事日程

令和3年9月24日（金）午後2時 開議
宮古島市役所庁舎 3階 会議室①

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
- 日程第2 承認事項 会議録の承認について（令和3年度第6回定例会）
- 日程第3 承認事項 会議録の承認について（令和3年度第7回臨時会）
- 日程第4 承認事項 会議録の承認について（令和3年度第8回臨時会）
- 日程第5 報 告 教育長報告
- 日程第6 議案第24号 宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部改正について
- 日程第7 報告第2号 全国学力・学習状況調査について
- 日程第8 そ の 他

議案第24号

宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について

上記の議案を、別紙のように提案する。

令和3年9月24日提出

宮古島市教育委員会
教育長 大城 裕子

提案理由

附属機関委員の追加、廃止、名称変更等がある場合の事務処理を簡素化する為

宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則

宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則（平成17年宮古島市教育委員会規則第6号）の一部を次のように改正する。

第2条第10号中「文化財保護審議委員、社会教育委員、社会教育指導員、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員、副読本編さん委員、心身障害児就学指導委員、博物館協議会委員、校区審議会委員、共同調理場運営委員及び市史編さん委員」を「附属機関の委員」に改める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則（平成17年宮古島市教育委員会規則第6号）新旧対照表

現行	改正後（案）
<p>宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則</p> <p>平成17年10月1日 教育委員会規則第6号</p> <p>（委任事項）</p> <p>第2条 教育委員会は、次の事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。</p> <p>(1)～(9) (略)</p> <p>(10) <u>文化財保護審議委員、社会教育委員、社会教育指導員、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、スポーツ推進審議会委員、副読本編さん委員、心身障害児就学指導委員、博物館協議会委員、校区審議会委員、共同調理場運営委員及び市史編さん委員</u>を委嘱し、又は任命すること。</p> <p>(11)～(15) (略)</p>	<p>宮古島市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則</p> <p>平成17年10月1日 教育委員会規則第6号</p> <p>（委任事項）</p> <p>第2条 教育委員会は、次の事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。</p> <p>(1)～(9) (略)</p> <p>(10) <u>附属機関の委員</u>を委嘱し、又は任命すること。</p> <p>(11)～(15) (略)</p>

報告第3号

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査の結果分析の概要について報告致します。

令和3年9月24日提出

宮古島市教育委員会
教育長 大城 裕子

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について(概要)

—宮古島市教育委員会(令和3年9月24日)—

■ 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■ 2 調査対象・内容、調査期日及び調査方式

○ 調査対象・内容

ア 小学校調査 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

・国語、算数及び児童質問紙調査

イ 中学校調査 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

・国語、数学及び生徒質問紙調査 ※ 学校質問紙調査(校長が回答)を併せて実施

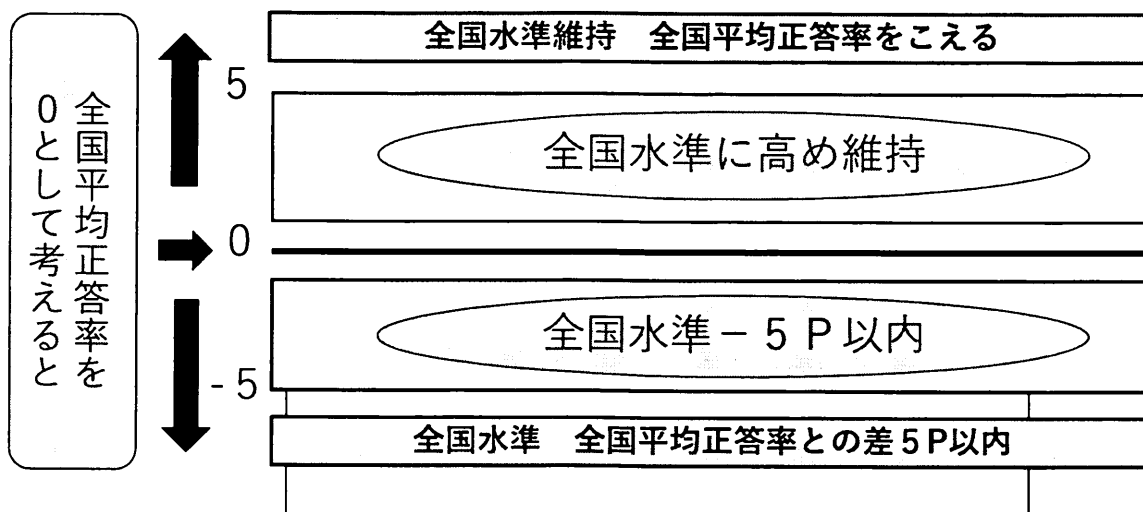
○ 調査期日 令和3年5月27日(木)

○ 調査方式 悉皆方式

2021/9/24

1

—全国学力・学習状況調査における宮古島市の目標値—



2021/9/24

2

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について(概要) —宮古島市教育委員会(令和3年9月24日)—

■ 3 調査実施学校・児童生徒数 (国・私立を除く)

小学校	学校数	児童数 (人)	
		国 語*	算 数
宮古島市教育委員会	16	498	498
沖縄県 (公立)	255	14,917	14,915
全国 (公立)	18,857	993,975	994,101

中学校	学校数	生徒数 (人)	
		国 語	数 学
宮古島市教育委員会	11	474	474
沖縄県 (公立)	142	13,561	13,556
全国 (公立)	9,320	903,157	903,253

2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

3

全国学力・学習状況調査の結果について(小学校)

■ 4 ① 小学校平均正答率*(宮古島市、沖縄県、全国の平均正答率)

小学校	宮古島市	沖縄県	全国	全国との差
国 語	60	65	64.7	-4.7
算 数	61	69	70.2	-9.2
平 均	60.5	67	67.5	-7.0

- 小学校では、平成26年度から平成31年度まで、国語・算数とも全国平均正答率5P以内の全国水準を維持してきた。令和3年度は国語は5P以内にとどまったが、算数は9.2P差に広がった。
○国語・算数とも例年に比べて落ち込みが見られた。

2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

4

全国学力・学習状況調査の結果について(中学校)

■ 4 ② 中学校平均正答率(宮古島市、沖縄県、全国平均正答率)

中学校	宮古島市	沖縄県	全国	全国との差
国語	59	60	64.6	-5.6
数学	49	52	57.2	-8.2
平均	54	56	60.9	-6.9

- 平成31年度は国語・数学とも全国との差が-4.8Pと全国水準5P以内だったが、令和3年度は国語・数学とも-5Pとなった。特に数学は、-8.2Pとひらいた。
- 小学校同様、数学の落ち込みが大きい。

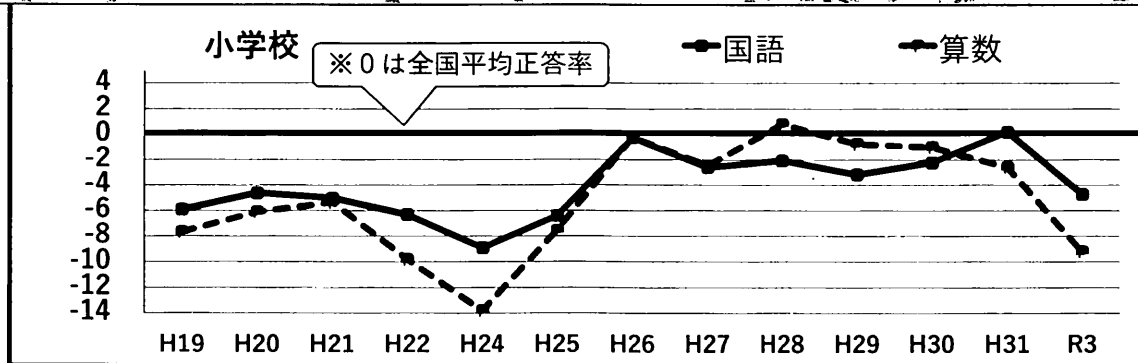
2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

5

宮古島市と全国平均正答率の差の経年推移(小学校) -平成19年~令和3年-

■ 5 ① 小学校平均正答率経年変化と学習指導要領改訂との関係



小学校における第7次「新学習指導要領」の全面実施(H23)、「知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力」などの育成のバランスを重視

小学校における第8次「新学習指導要領」の全面実施(R2)、各教科の目標・内容が「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力の柱で再整理

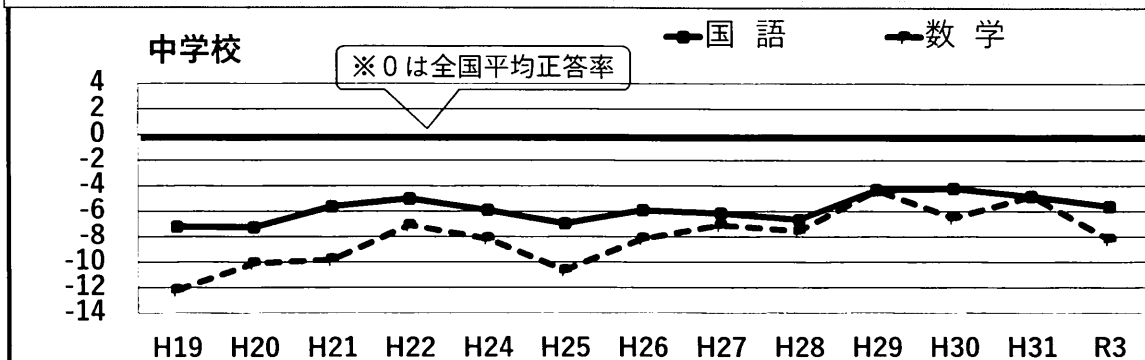
2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

6

宮古島市と全国の平均正答率の差の経年推移(中学校)ー平成19年～令和3年ー

■ 5② 小学校平均正答率経年変化と学習指導要領改訂との関係



中学校における第7次「新学習指導要領」の全面実施(H24)に、知識・技能の習得と「思考力・判断力・表現力」などの育成のバランスを重視

2021/9/24

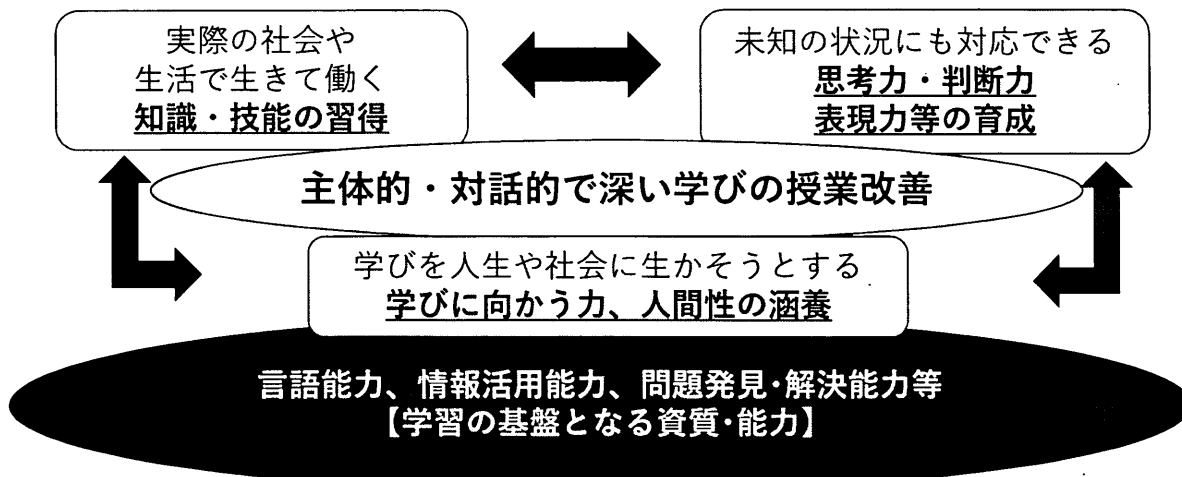
全国学力学習状況調査経年変化

中学校における第8次「新学習指導要領」の全面実施(R3)、各教科の目標・内容が「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力・人間性など」の3つの資質・能力の柱で再整理

7

新学習指導要領の求める資質能力(小中高)

■ 6 新学習指導要領の目指す3つの資質能力とそれを支える学習の基盤となる資質能力



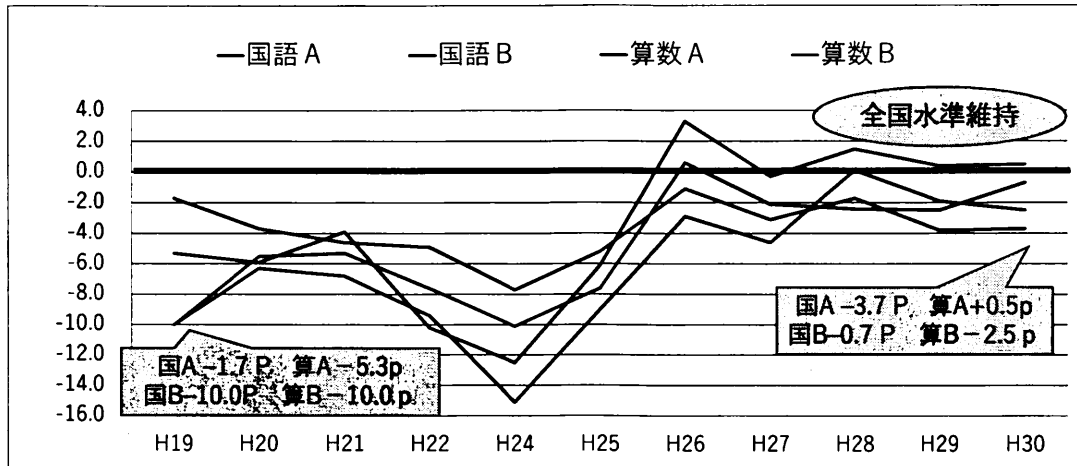
2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

8

H30以前のA問題(基礎基本)とB問題(活用)の経年推移(小学校)

■ 6① 平成19年度～平成30年度に行われたA・B問題の経年推移



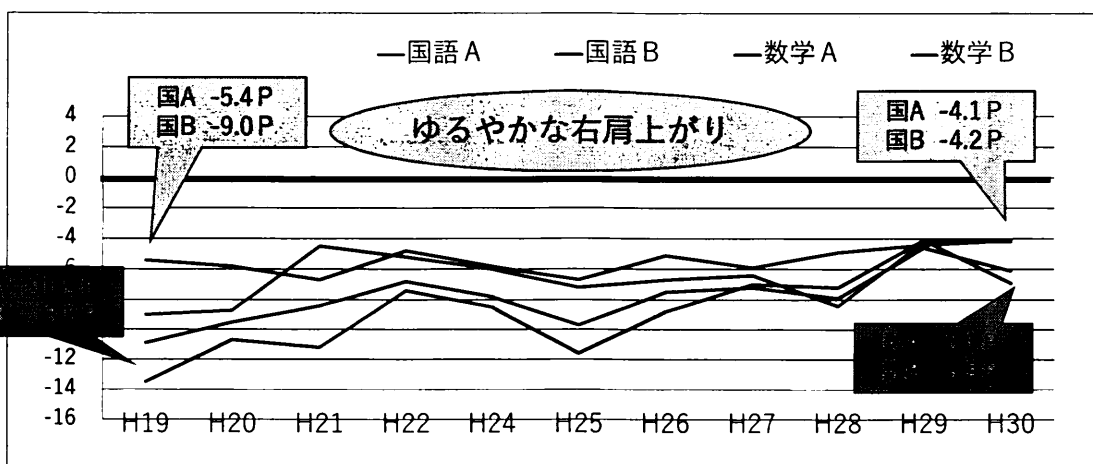
2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

9

H30以前のA問題(基礎基本)とB問題(活用)の経年推移(中学校)

■ 6② 平成19年度～平成30年度に行われたA・B問題の経年推移



2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

10

令和3年度調査はA・B問題が一体的に出題(小中学校)

■ 7 A・B出題方式から、一体的に出題される方式に変わったことにより、問題数減と難易度が上がった

【平成30年度】

小学校国語

A問題(基礎) 12問出題

B問題(活用) 8問出題

小学校算数

A問題(基礎) 14問出題

B問題(活用) 10問出題

中学校国語

A問題(基礎) 32問出題

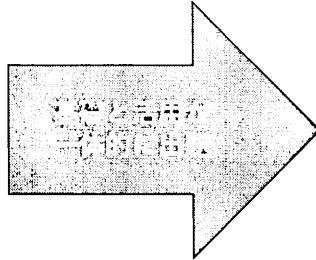
B問題(活用) 9問出題

中学校数学

A問題(基礎) 36問出題

B問題(活用) 14問出題

2021/9/24



【令和3年度】

小学校国語 14問出題(1問7P)

小学校算数 16問出題(1問7P)

中学校国語 14問出題(1問7P)

中学校数学 16問出題(1問6P)

【児童生徒に対する調査】

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学〕国語、算数・数学はそれぞれ次の(基礎)と(活用)を一体的に出題。

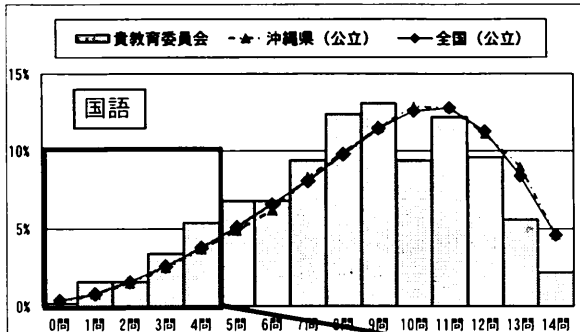
※調査問題は学習指導要領(小学校調査においては平成29年告示、中学校調査においては平成20年告示)に示された目標及び内容等に基づいて作成

全国学力学習状況調査経年変化

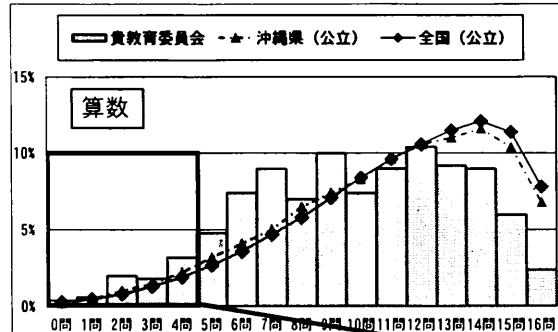
11

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果概況[国語・算数](小学校)

■ 7① 正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)と平均正答率・平均無回答率・30%未満の正答率



	平均正答数	無回答率	30%未満
宮古島市	60	4.7	12.2
沖縄県	65	3.1	8.8
全国	64.7	4.3	9.2



	平均正答数	無回答率	30%未満
宮古島市	61	5.0	8.0
沖縄県	69	3.1	5.4
全国	70.2	2.6	4.8

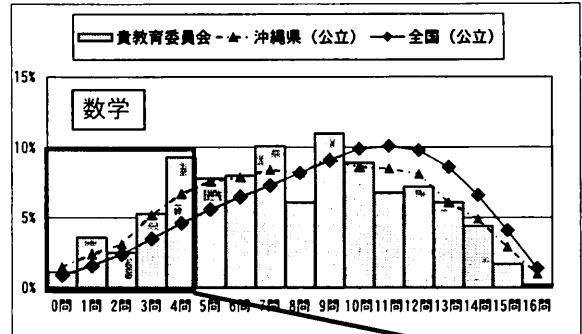
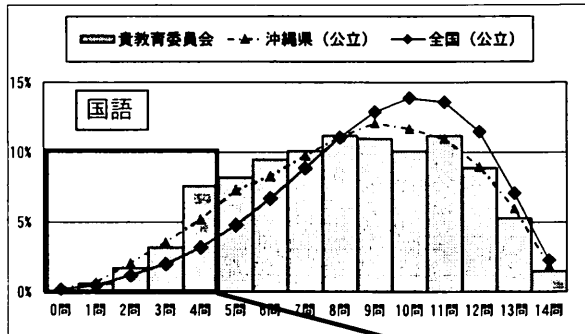
2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

12

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果概況[国語・数学](中学校)

■7② 正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)と平均正答率・平均無回答率・30%未満の正答率



	平均正答率	無回答率	30%未満
--	-------	------	-------

宮古島市	59 ⁺	7.5	13.1
沖縄県	60	6.2	11.9
全国	64.6	4.4	7.1

	平均正答率	無回答率	30%未満
--	-------	------	-------

宮古島市	49	16.8	21.8
沖縄県	52	12.8	18.9
全国	57.2	11.2	13.0

2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

13

各教科の調査時間の適切性

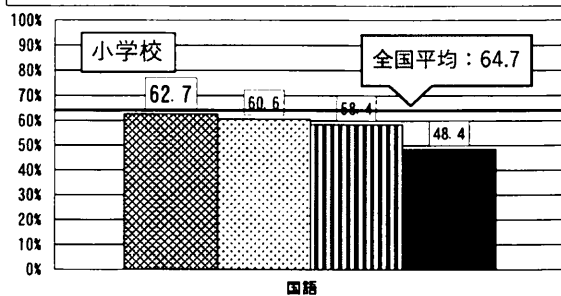
—小学校児童質問紙調査から—

■8① 無回答率・30%未満の正答率と児童生徒質問紙との関連

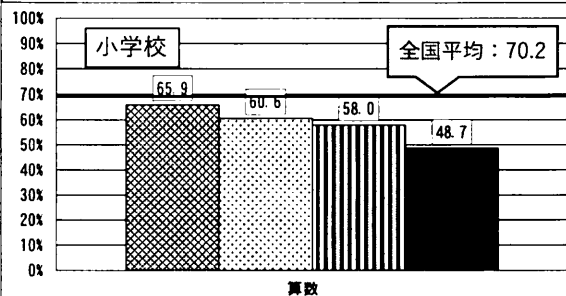
【児童質問紙】(68・69)

解答時間は十分でしたか(国語・算数)

1. 時間が余った 2. ちょうどよかった
 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった



1. 時間が余った 2. ちょうどよかった
 3. やや足りなかった 4. 全く足りなかった



各教科の調査時間の適切性

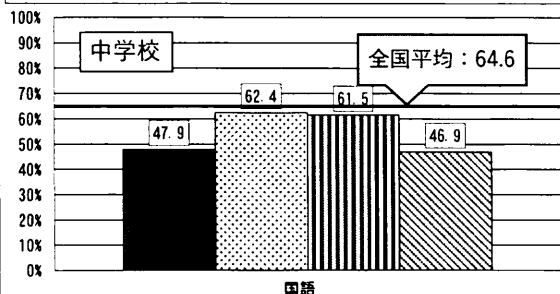
— 中学校生徒質問紙調査から —

■8② 無回答率・30%未満の正答率と児童生徒質問紙との関連

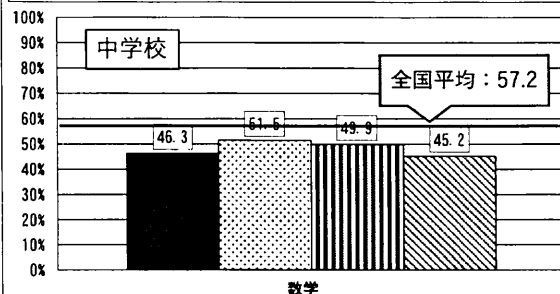
【児童質問紙】 (68・69)

解答時間は十分でしたか (国語・数学)

- 1. 時間が余った □2. ちょうどよかった
 □3. やや足りなかった □4. 全く足りなかった



- 1. 時間が余った □2. ちょうどよかった
 □3. やや足りなかった □4. 全く足りなかった



学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)

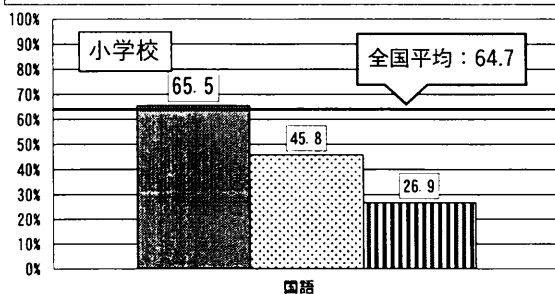
— 小・中学校 児童生徒質問紙調査から —

■8③ 無回答率・30%未満の正答率と児童生徒質問紙との関連

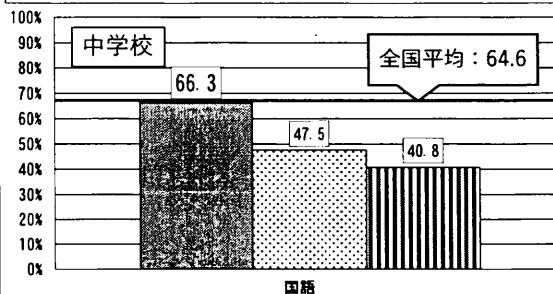
【児童生徒質問紙】 (51)

今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか。

- 1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
 □2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった
 □3. 書く問題は全く解答しなかった



- 1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
 □2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった
 □3. 書く問題は全く解答しなかった



学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)

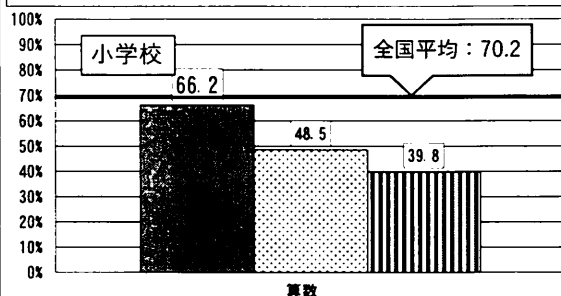
—小・中学校 児童生徒質問紙調査から—

■8④ 無回答率・30%未満の正答率と児童生徒質問紙との関連

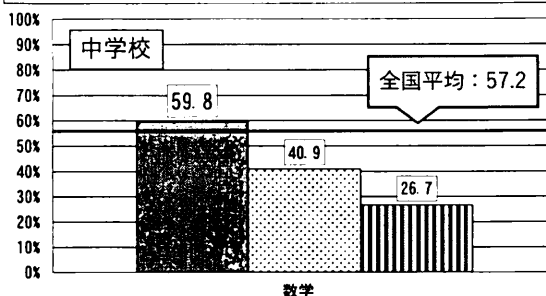
【児童生徒質問紙】(60)

算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題についてどのように解答しましたか。

- 1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- 3. 書く問題は全く解答しなかった



- 1. 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2. 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- 3. 書く問題は全く解答しなかった



各教科の調査時間の適切性

【児童生徒質問紙】(68・69)

解答時間は十分でしたか(国語・数学)

【考察】

小学校では、時間に余裕があると肯定的に回答した児童が、平均正答率が高い傾向にあった。逆に全く足りなかったと回答している児童は、平均正答率の落ち込みが大きい。

中学校では、時間に余裕があると肯定的に回答した生徒が、平均正答率が低い結果となった。じっくり考えることなく、問題をさらっと終えた可能性がある。

学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語・算数・数学)

【児童生徒質問紙】(51・60)

国語や算数・数学について、どのように解答しましたか。

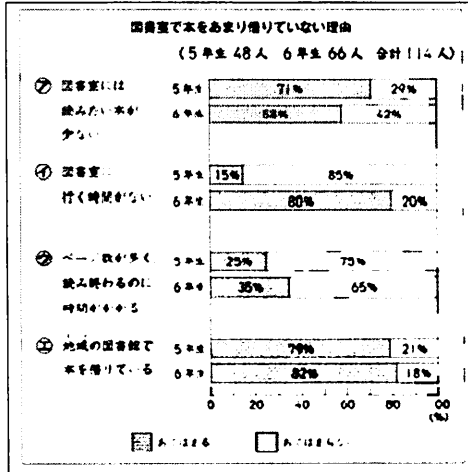
【考察】

小中学校とも、「最後まで解答を書こうと努力した」と肯定的に回答した児童生徒が、平均正答率が高い。しかし、「途中であきらめたり、回答しなかった」と否定的に回答している児童生徒の平均正答率は大きく落ち込んでいる。粘り強く取り組む姿勢と基礎基本の定着に向けた授業改善が必要である。

課題のあった問題例【小学校：算数】

■ 9① 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く

【3(4)】 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる



5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらい項目があります。

5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きく違う項目もありました。

このグラフについて、5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが一番大きい項目はどれですか。また、その項目について「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。

	平均正答率	無回答率
宮古島市	38.2	20.5
沖縄県	47.2	13.9
全国	52.0	10.3

【正答例】

5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きいこう目は、④の「**図書室に行く時間がない**」です。
5年生が15%で、6年生が80%です。

【考察】

上記の正答例の3つの条件がそろって初めて正解となる。「5年生が15%で、6年生が80%」と回答して間違っている児童も多い。複数のデータから項目間の違いに着目し、データの特徴や傾向を正確に読み取る必要がある。

課題のあった問題例【中学校：数学】

■ 9② 錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す

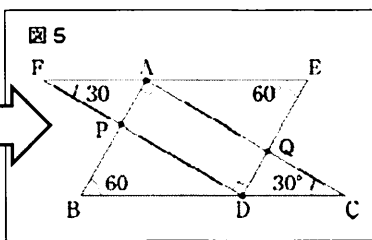
【9(2)】 錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している

図5

拡大図

解答者の考え

FE // BC と解答しているもの。



	平均正答率	無回答率
宮古島市	48.5	24.3
沖縄県	54.5	18.6
全国	64.3	14.2

【正答例】

FE // BC と解答しているもの。

【考察】

錯角である $\angle FAP$ と $\angle PBD$ が等しく 60° であることを捉え、そのことが2直線 FE, BC の位置関係が平行であることから導かれるといった前提を明確にし、「FE // BC より、 $\angle FAP = \angle PBD$ である。」などと表現することができるようになることが大切である。事柄が成り立つことについて、根拠を明確にして説明することができるようにする授業改善が必要である。

令和3年度全国学力・学習状況調査(小中学校)

— 児童生徒質問紙 —

■10 児童生徒質問紙対応表 (69項目)

	内 容	質問番号		内 容	質問番号
1	基本的生活習慣	1～5	7	総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳	39～42
2	<u>挑戦心、達成感、規範意識 自己有用感</u>	6～16	8	<u>学習に関する興味・関心や授業の 理解度等(国語)</u>	43～51
3	<u>学習習慣、学習環境等</u>	17～23 30	9	<u>学習に関する興味・関心や授業の 理解度等(算数・数学)</u>	52～60
4	地域や社会に関わる活動の状況等	24、25	10	学習に関する興味・関心や授業の理解度等(英語)	61～63
5	ICTを活用した学習状況	26～29	11	<u>新型コロナウイルス感染症の影響</u>	64～67
6	<u>主体的・対話的で深い学びの視点か らの授業改善に関する取組状況</u>	31～38	12	<u>各教科の調査時間の適切性</u>	68、69

2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

21

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

— 令和3年度全国学力・学習状況調査から —

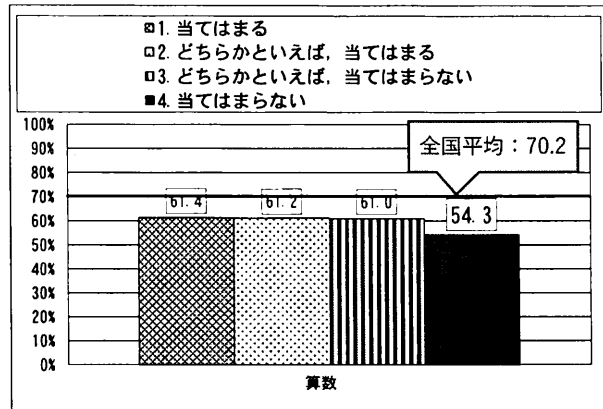
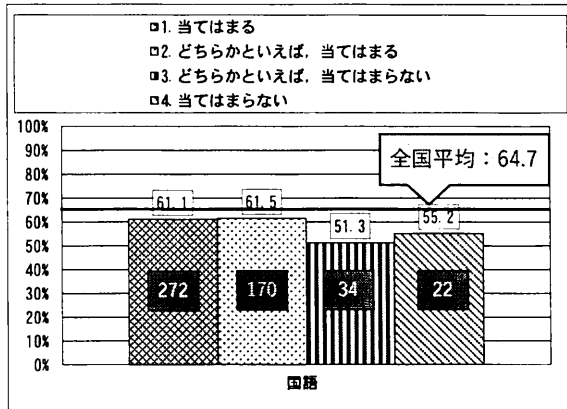
【小学校】

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (13)

学校に行くのは楽しいと思いますか。

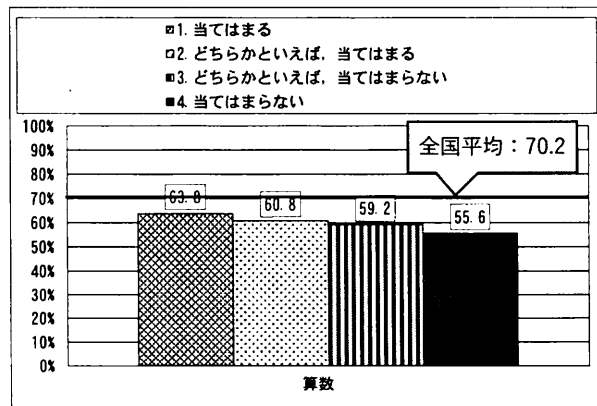
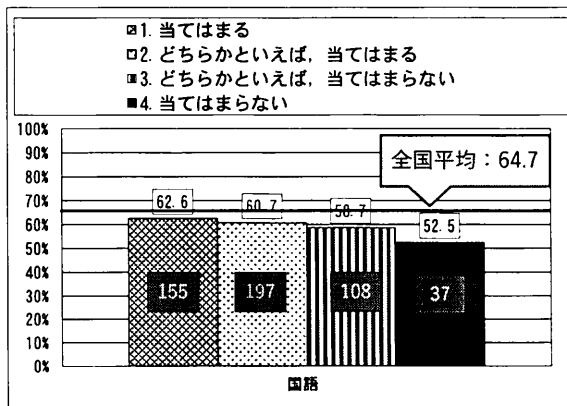


挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (15)

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



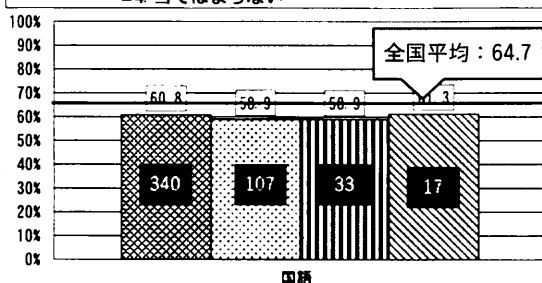
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

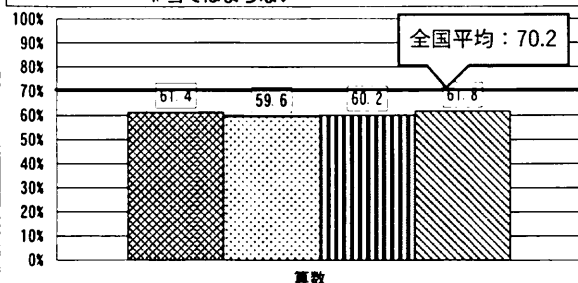
【児童質問紙】(16)

友達と協力するのは楽しいと思えますか。

- ☐1. 当てはまる
- ☐2. どちらかといえば、当てはまる
- ☐3. どちらかといえば、当てはまらない
- ☐4. 当てはまらない



- ☐1. 当てはまる
- ☐2. どちらかといえば、当てはまる
- ☐3. どちらかといえば、当てはまらない
- ☐4. 当てはまらない



挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

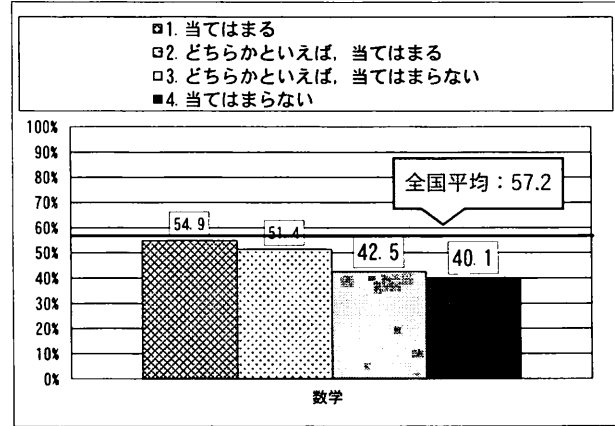
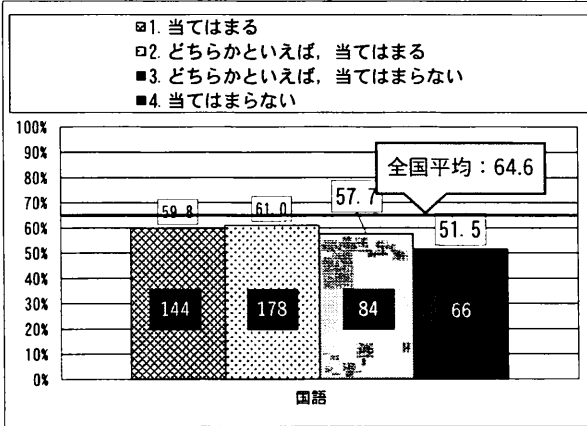
【中学校】

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (13)

学校に行くのは楽しいと思いますか。

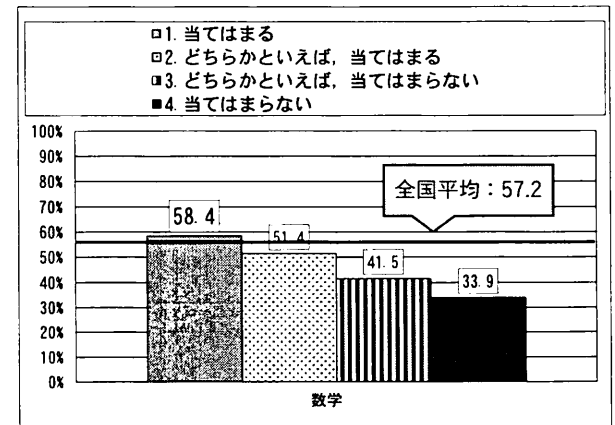
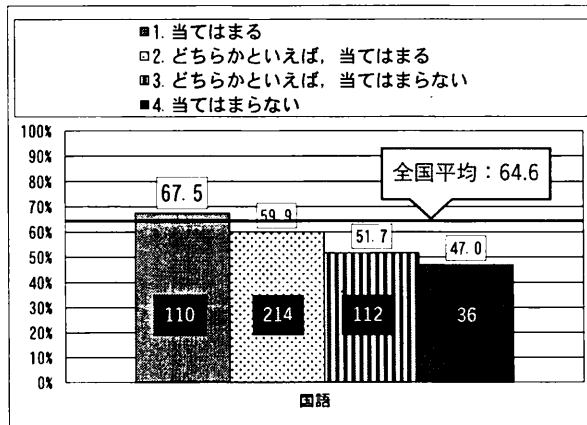


挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (15)

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

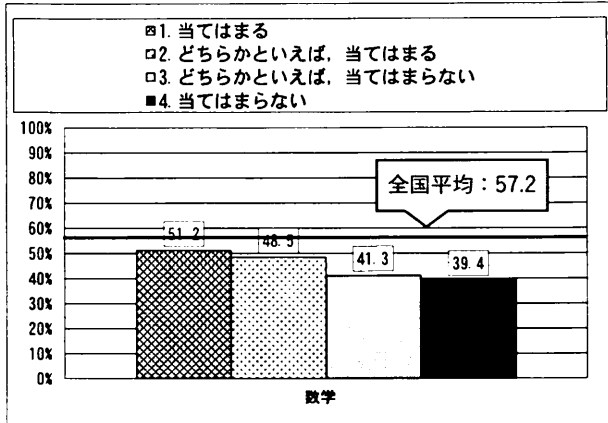
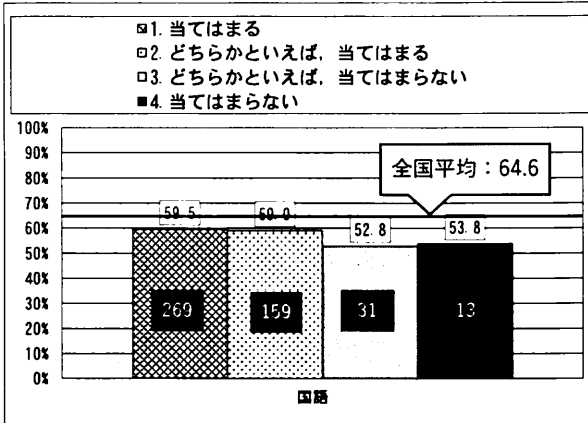


挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (16)

友達と協力するのは楽しいと思いますか。



挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童生徒質問紙】 (13)

学校に行くのは楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】 (15)

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

【児童生徒質問紙】 (16)

友達と協力するのは楽しいと思いますか。

【考察】

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等の質問に対して、11項目の中から上記の3つの質問が平均正答率との関係が肯定的回答の方が平均正答率が高い傾向にあるが、特に中学校の否定的な回答は低い傾向にある。

- ・13の学校へ行くのが楽しいと肯定的・否定的に答える生徒と数学の平均正答率との差が大きい。
- ・15の自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。を肯定的に回答する生徒の平均正答率は高く、否定的に回答する生徒と比較すると、国語で20.5、数学で24.5の開きがある。
- ・16の友達と協力するのは楽しいと思いますか。については、肯定的に回答する生徒の平均正答率について、大きな差はなかったが、否定的に回答する生徒の数学の平均正答率は低い。

※これらのことから、「挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感」について、肯定的に回答する児童生徒の姿が表出するためには、指示的風土作りによる学級作り及び授業改善が望まれる。特に中学校については、配慮が必要である。

学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

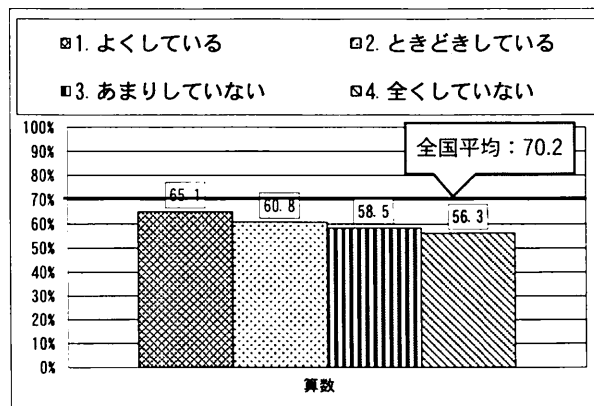
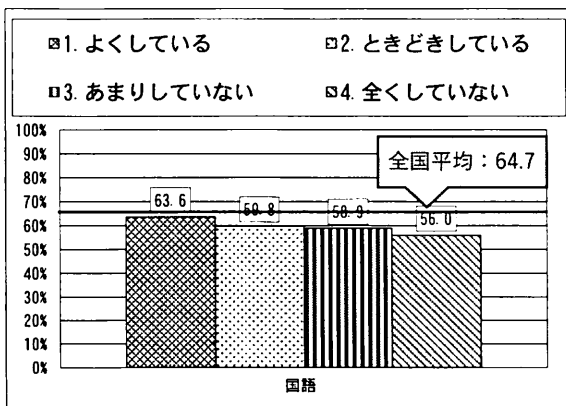
【小学校】

学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (17)

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。



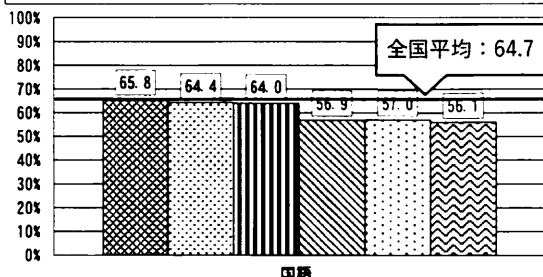
学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

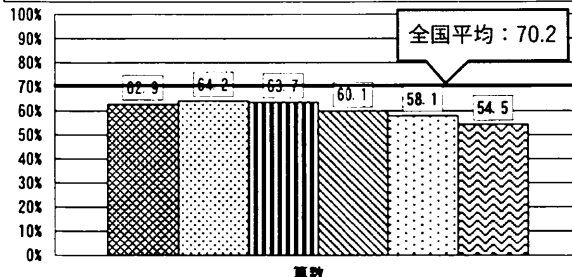
【児童質問紙】(18)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない
3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない 6. 全くしない



1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない
3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない 6. 全くしない



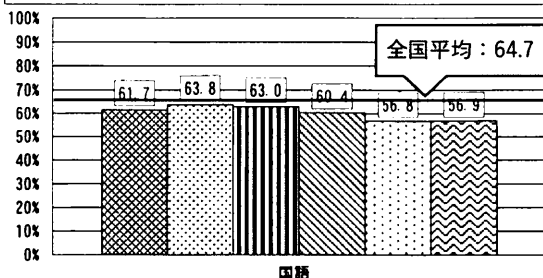
学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

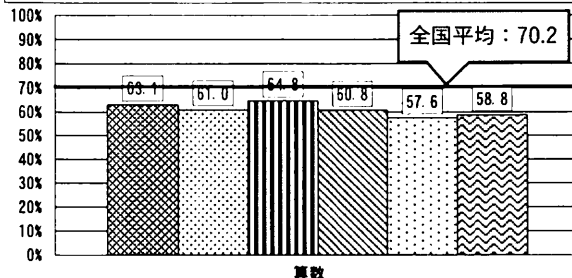
【児童質問紙】(21)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

1. 2時間以上 2. 1時間以上、2時間より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない 4. 10分以上、30分より少ない
5. 10分より少ない 6. 全くしない



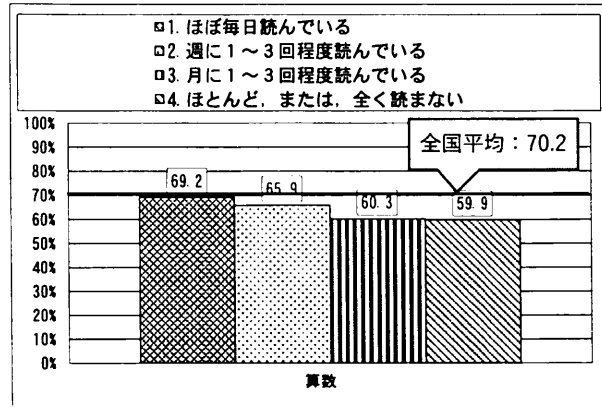
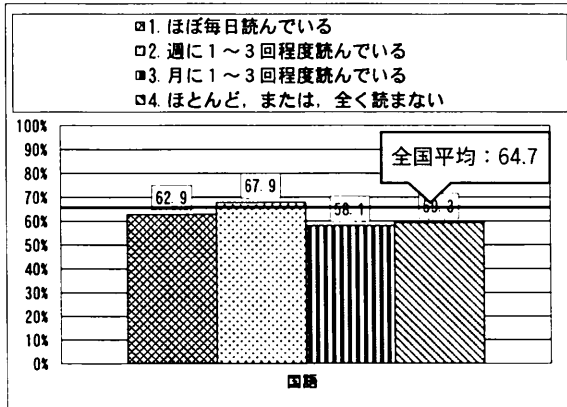
1. 2時間以上 2. 1時間以上、2時間より少ない
3. 30分以上、1時間より少ない 4. 10分以上、30分より少ない
5. 10分より少ない 6. 全くしない



学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (23)
新聞を読んでいますか。



学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【中学校】

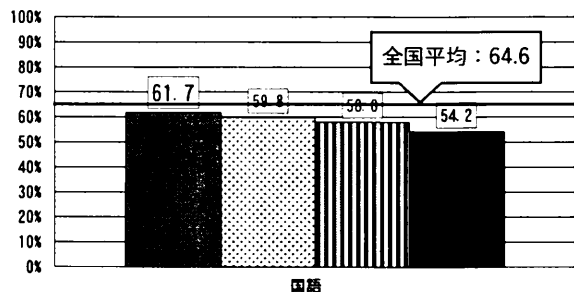
学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

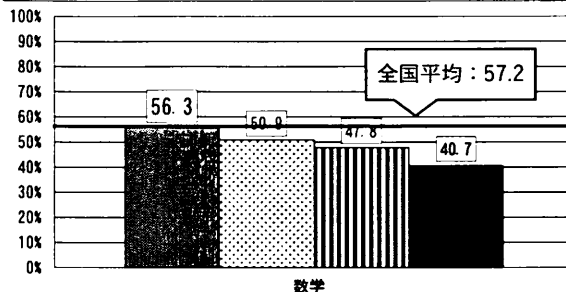
【生徒質問紙】(17)

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）。

- 1. よくしている
- 2. ときどきしている
- 3. あまりしていない
- 4. 全くしていない



- 1. よくしている
- 2. ときどきしている
- 3. あまりしていない
- 4. 全くしていない



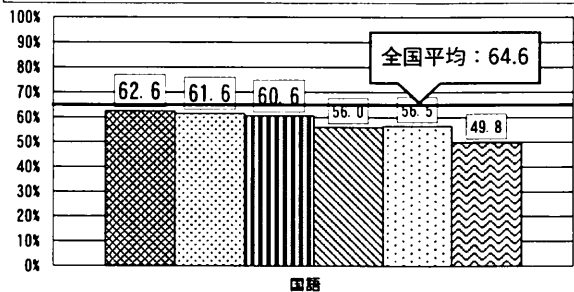
学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

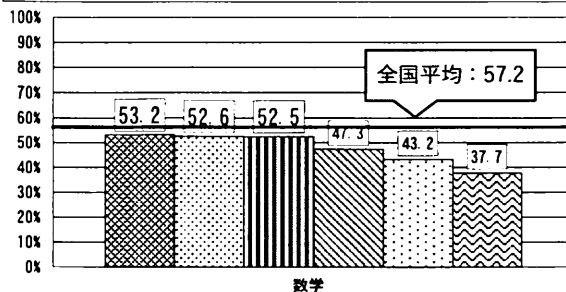
【生徒質問紙】(18)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

- 1. 3時間以上
- 2. 2時間以上、3時間より少ない
- 3. 1時間以上、2時間より少ない
- 4. 30分以上、1時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 6. 全くしない



- 1. 3時間以上
- 2. 2時間以上、3時間より少ない
- 3. 1時間以上、2時間より少ない
- 4. 30分以上、1時間より少ない
- 5. 30分より少ない
- 6. 全くしない



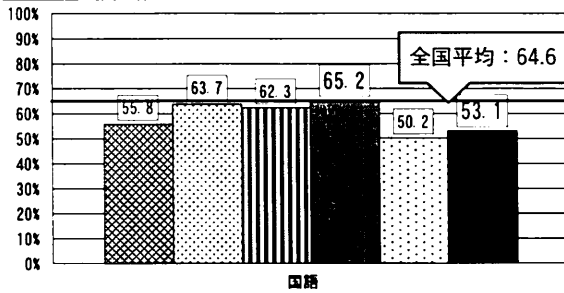
学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

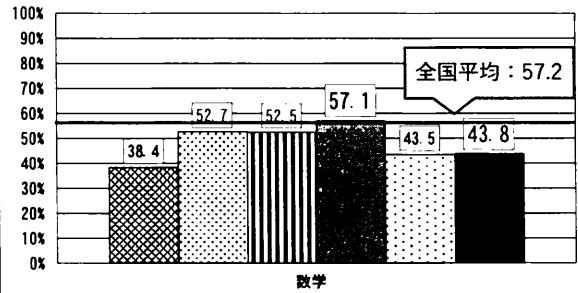
【生徒質問紙】(21)

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

- 1. 2時間以上
- 2. 1時間以上、2時間より少ない
- 3. 30分以上、1時間より少ない
- 4. 10分以上、30分より少ない
- 5. 10分より少ない
- 6. 全くしない



- 1. 2時間以上
- 2. 1時間以上、2時間より少ない
- 3. 30分以上、1時間より少ない
- 4. 10分以上、30分より少ない
- 5. 10分より少ない
- 6. 全くしない



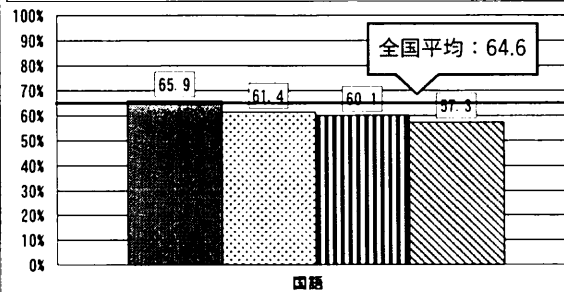
学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

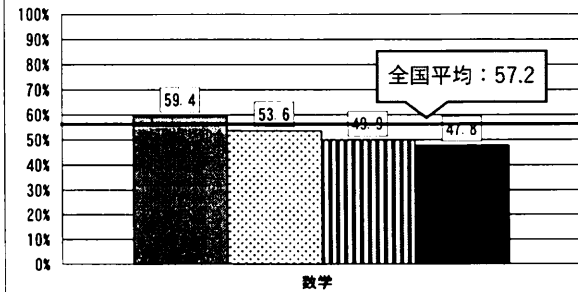
【生徒質問紙】(23)

新聞を読んでいますか。

- 1. ほぼ毎日読んでいる
- 2. 週に1～3回程度読んでいる
- 3. 月に1～3回程度読んでいる
- 4. ほとんど、または、全く読まない



- 1. ほぼ毎日読んでいる
- 2. 週に1～3回程度読んでいる
- 3. 月に1～3回程度読んでいる
- 4. ほとんど、または、全く読まない



学習指導、学習環境

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童生徒質問紙】(17)

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)。

【児童生徒質問紙】(18)

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

【児童生徒質問紙】(21)

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。

【児童生徒質問紙】(23)

新聞を読んでいますか。

【考察】

学習指導、学習環境の質問に対して、項目の中から上記の4つの質問が、平均正答率との関係が肯定的回答の方が平均正答率が高い傾向にある。

・18の家庭学習の質問からは、1時間未満の児童生徒の平均正答率が低くなっている。

※「学習指導、学習環境」について、計画的な家庭学習への取組、読書又は新聞を読む事の習慣化、授業と連動した質の高い家庭学習への取組及び家庭との連携が必要であると考えられる。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【小学校】

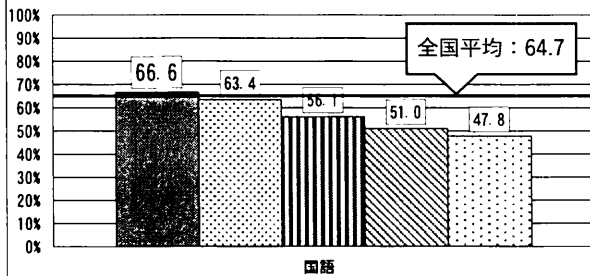
主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

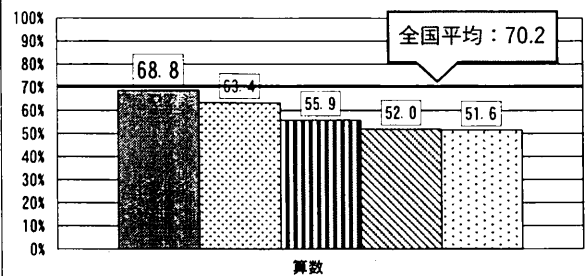
【児童質問紙】 (32)

5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

- 1. 発表していた
- 2. どちらかといえば、発表していた
- 3. どちらかといえば、発表していなかった
- 4. 発表していなかった
- 5. 考えを発表する機会はなかった



- 1. 発表していた
- 2. どちらかといえば、発表していた
- 3. どちらかといえば、発表していなかった
- 4. 発表していなかった
- 5. 考えを発表する機会はなかった



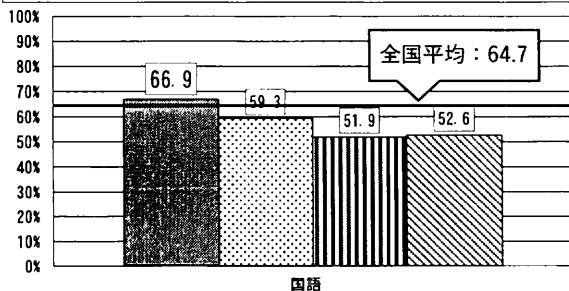
主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

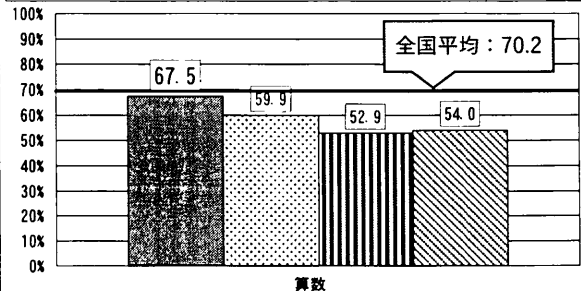
【児童質問紙】 (33)

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない



- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない

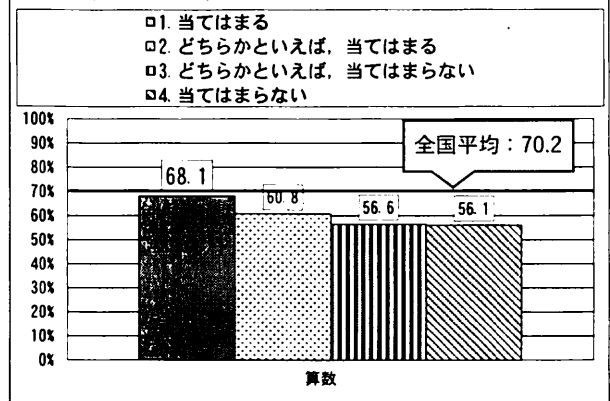
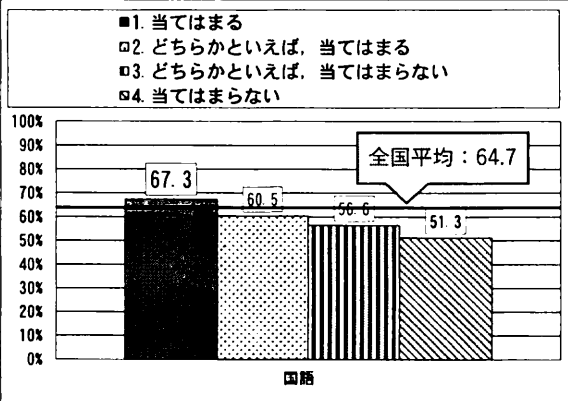


主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (34)

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。

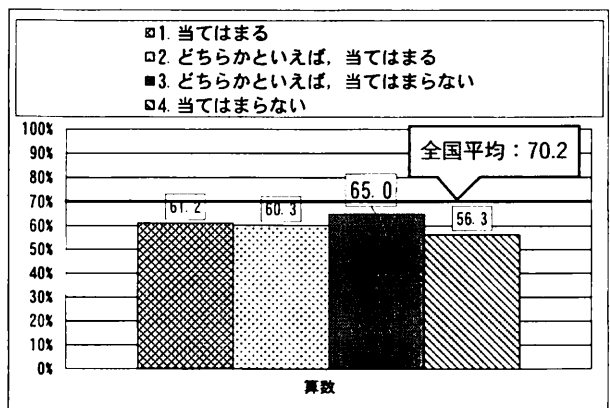
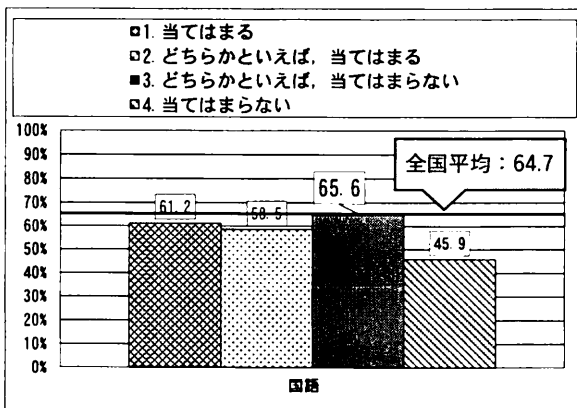


主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (36)

友達と話合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。

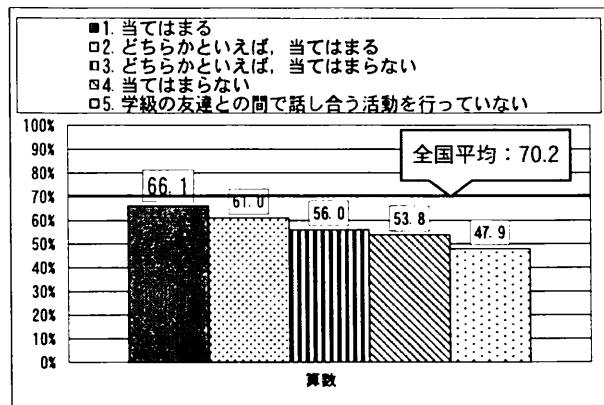
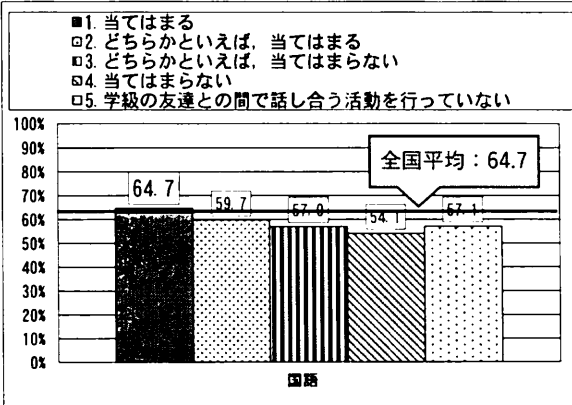


主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (37)

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。



主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (32)

5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

【児童質問紙】 (33)

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

【児童質問紙】 (37)

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

【考察】

新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善」では、上記の取組が肯定的回答の方が平均正答率が高い傾向にある。

【児童質問紙】 (36)

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。

【考察】

主体的・対話的で深い学びの学習指導から見ると、INPUT（内化する）より、OUTPUT（外化する）の方が平均正答率が高い傾向にある。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

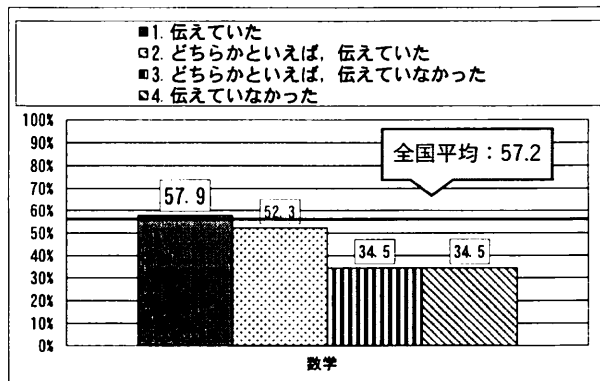
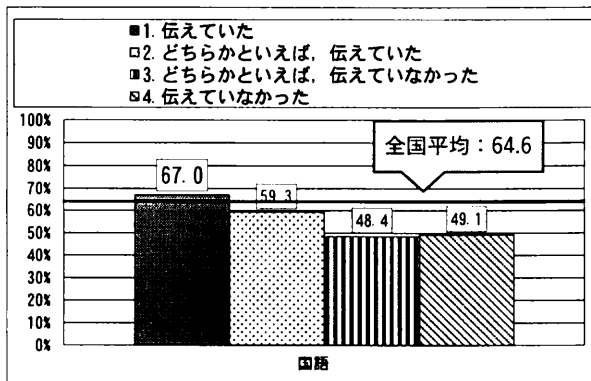
【中学校】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (31)

1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかり伝えていましたか。

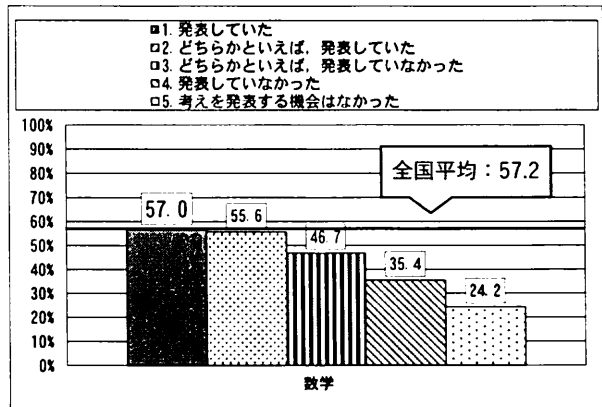
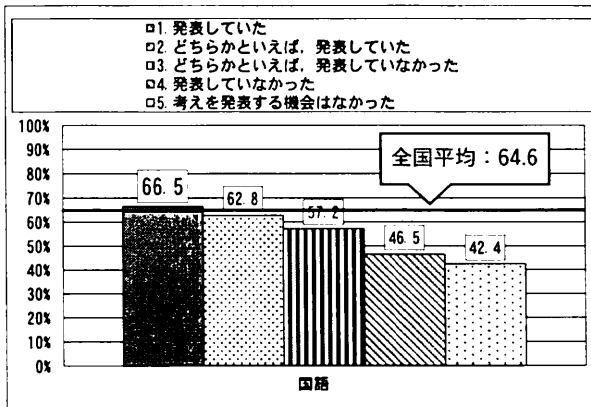


主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (32)

1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

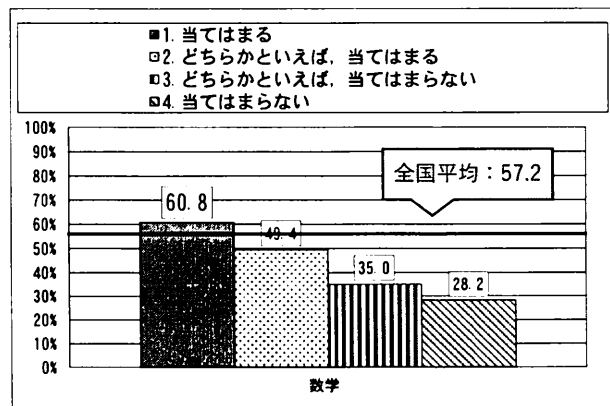
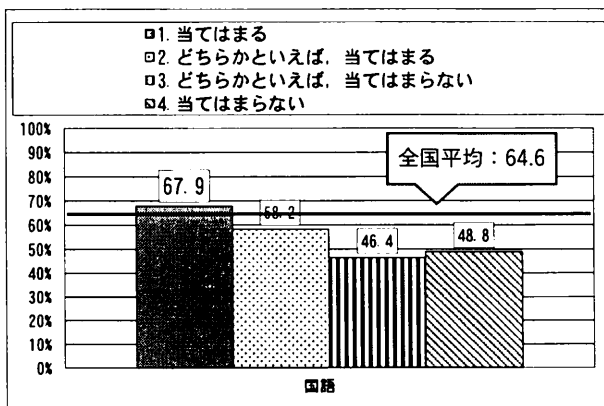


主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (33)

1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



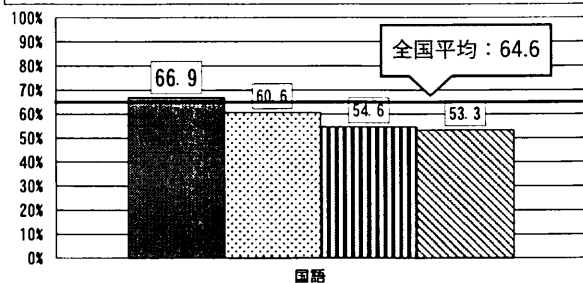
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

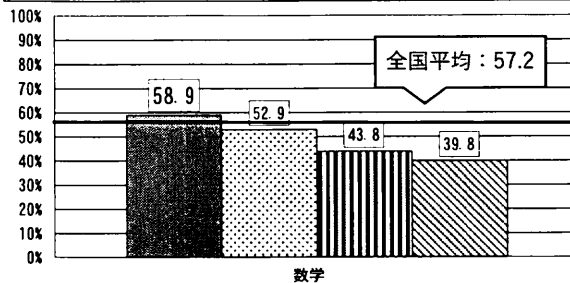
【生徒質問紙】 (34)

1, 2年生のときに受けた授業では, 各教科などで学んだことを生かしながら, 自分の考えをまとめたり, 思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば, 当てはまる
 □3. どちらかといえば, 当てはまらない □4. 当てはまらない



- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば, 当てはまる
 □3. どちらかといえば, 当てはまらない □4. 当てはまらない



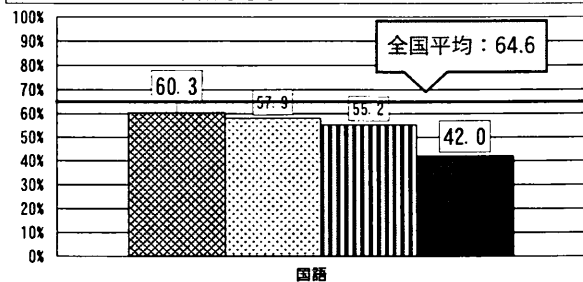
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

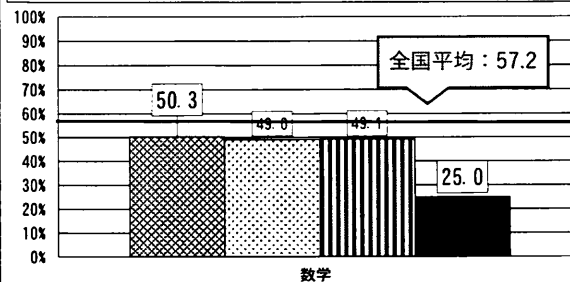
【生徒質問紙】 (36)

友達と話し合うとき, 友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。

- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば, 当てはまる
 □3. どちらかといえば, 当てはまらない ■4. 当てはまらない



- 1. 当てはまる □2. どちらかといえば, 当てはまる
 □3. どちらかといえば, 当てはまらない ■4. 当てはまらない

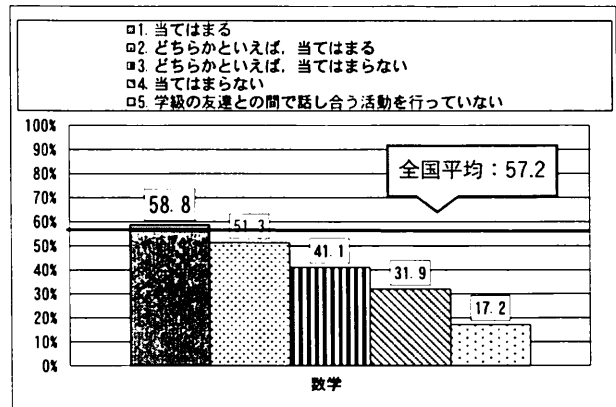
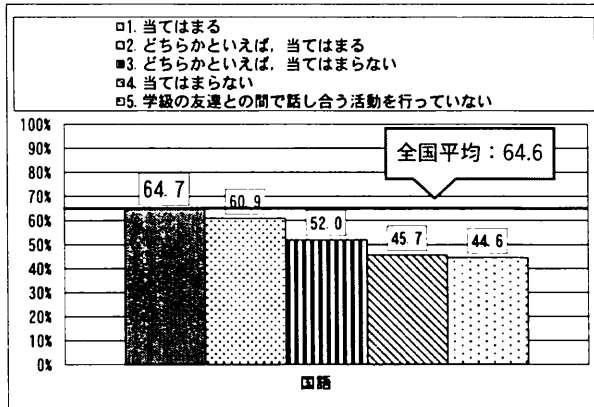


主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (37)

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。

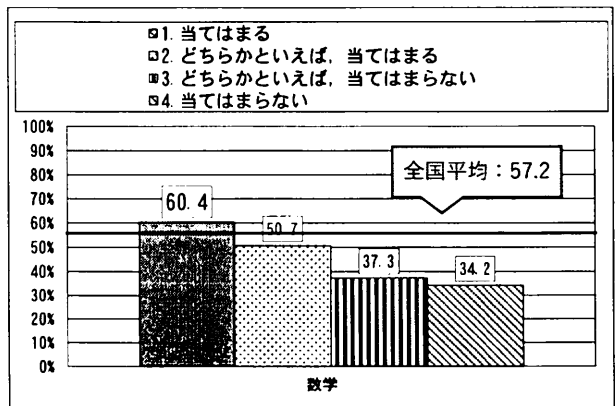
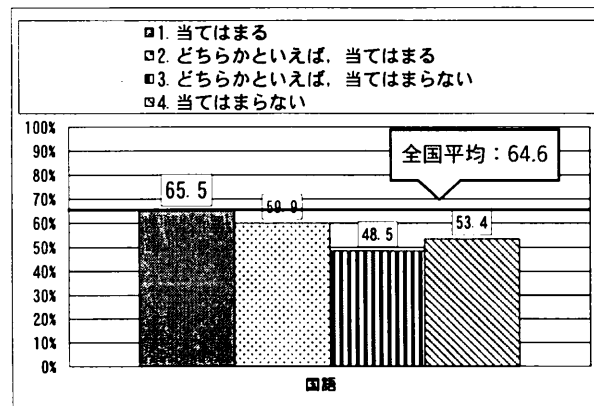


主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (38)

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。



主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (31～38) ※35を除く

【考察】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況の質問に対して、8項目の中から上記の7つの質問が、平均正答率との関係が肯定的回答の方が平均正答率が高い傾向にある。

- ・31、32、34、37は学習中におけるアウトプットの活動と関連が深く、肯定的な回答は平均正答率が高い
- ・36はインプットの学習活動と関連が深い、肯定的な回答と否定的な回答では、国語で-18.3、数学で-25.3の差があった。しかし、アウトプットの回答と比べると、平均正答率の伸びは大きくない。
- ・33、38は主体的に学習に取り組む活動と関連がある。どちらも肯定的な回答の生徒が、平均正答率が高い傾向にある。

※「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」について、ほとんどの項目で、肯定的な回答の生徒の平均正答率が、全国の平均正答率を超えていることから、今後の授業改善に向けた大事な視点といえる。特にアウトプットの学習活動を念頭において、協働的な学習の構築が必要である。

新型コロナウイルス感染症の影響

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

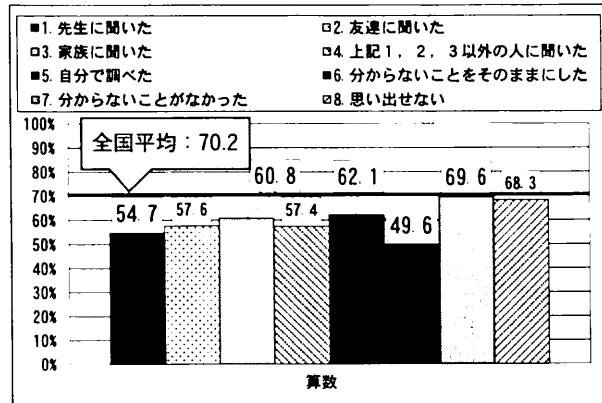
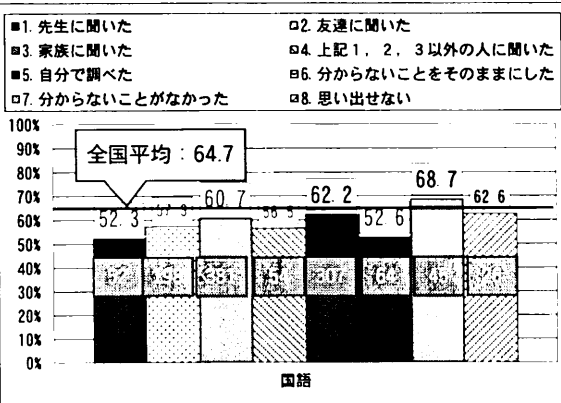
【小学校・中学校】

新型コロナウイルス感染症の影響

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童質問紙】 (67)

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）

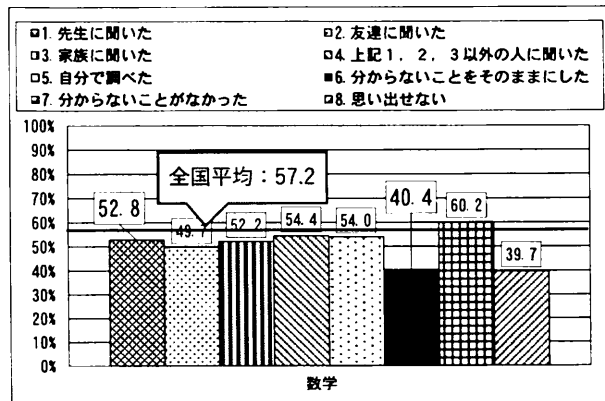
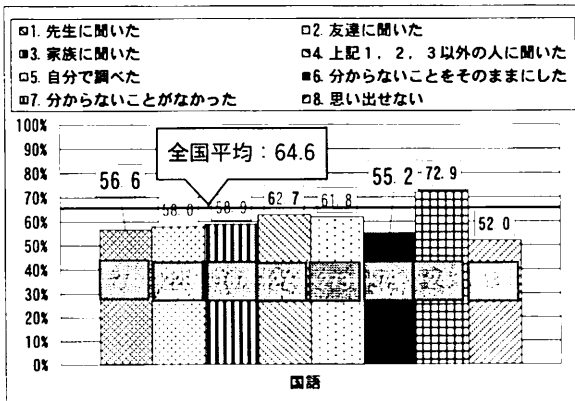


新型コロナウイルス感染症の影響

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【生徒質問紙】 (67)

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）



新型コロナウイルス感染症の影響

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童生徒質問紙】 (64)

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。

【児童生徒質問紙】 (65)

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。

【児童生徒質問紙】 (66)

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。

【児童生徒質問紙】 (67)

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）

【考察】

上記の質問に対して、(65)は肯定的回答の方が平均正答率が高い傾向にある。しかし、(64・66)は肯定的な回答が必ずしも平均正答率が高いとはいえなかった。(67)は児童生徒の多くが、「家族に聞いた」「自分で調べた」と回答していた。進んで学ぶ児童と家族のサポートがある児童が平均正答率の高い傾向にある。「先生に聞いた」という児童は少数で、休業期間学校とのつながりが十分でないことがわかった。

ICTを活用した学習状況

—令和3年度全国学力・学習状況調査から—

【児童生徒質問紙】 ②⑥

5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

【児童生徒質問紙】 ②⑦

あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。

【児童生徒質問紙】 ②⑧

学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

【児童生徒質問紙】 ②⑨

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。

【考察】

上記の質問に対して、②⑥・②⑦は肯定的回答の方が平均正答率が高い傾向にある。しかし、質問の趣旨に対しての昨年度の活用状況の把握は難しいと考える。本市においては、GIGAスクール構想の一人一台端末の利用が令和3年から始まった事により、令和4年度調査で平均正答率との整合性のある調査結果が出るものと思われる。

令和3年度全国学力・学習状況調査(小中学校)

— 学校質問紙(校長が回答) —

■ 9② 学校質問紙対応表 (102項目)

	内 容	質問番号		内 容	質問番号
1	生徒指導	7～11	9	ICTを活用した学習状況	63～75
2	学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況	12～28	10	特別支援教育	76
3	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	29～40	11	小学校教育と中学校教育の連携	77～79
4	総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法	41～44	12	家庭や地域との連携等	80～84
5	学習評価	45～48	13	家庭学習	85～87
6	国語科の指導方法	49～54	14	学力学習状況調査の結果の活用	88～91
7	算数・数学の指導方法	55～60	15	新型コロナウイルス感染症の影響	1～X1
8	英語科の指導方法	61、62			

2021/9/24

全国学力学習状況調査経年変化

63

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて

- 新学習指導要領の目指す3つの資質能力「実際の社会や生活で生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性の涵養等」を育成するために、学びの土台である「言語能力」、「情報活用能力」、「課題発見・活用能力」等に課題があると捉え、基礎的基本的な知識・技能をしっかりと習熟させるための取組及び知識技能を活用した「主体的対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む。
- 「GIGAスクール構想」による一人一台端末を活用した段階的・組織的な取組による児童生徒の情報活用能力及び職員のICT活用指導力の向上は、これからの協働的な学びには不可欠である。「いつでもどこでもつながる(学べる)」学習用文房具(ツール)として、「個別最適な学び」・「協働的な学び」にも活用が期待できる。
- さらなる研修会、及びICT支援員の支援による資質能力の向上に取り組む。
- 小学校低学年における学力差が、その後の学力差に大きく影響しているとの課題は本市にも当てはまることから、幼児教育の充実及び小学校とのスムーズな接続に向けた、幼児教育連携体制推進事業を推進する。
- 【直近の具体的取組として】**
- ・各小中学校の校長中間面談及び学校支援のための全小中学校委員会支援訪問の実施 (10/4～10/7)
 - ・教育事務所及び教育委員会の主事による学校支援訪問 (10/4～10/15)、及び授業改善訪問 (10/18～10/22) による授業改善及び魅力ある学校作りに向けた支援の実施
 - ・各学校独自の全国学力学習状況調査の分析・活用とそれに伴う授業改善及び魅力ある学校作りの推進
 - ・教育事務所連携し、授業改善に向けた各種研修会の実施
 - ・幼児教育の充実と小学校とのスムーズな接続に向けた研修会の実施
 - ・特別支援に係る支援の充実及び職員の資質能力の向上を踏まえた取組